

## 薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記  
薬剤部 小泉 祐一

2019年4月19日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

## ① 新規採用医薬品

ピートル顆粒分包 250mg (泌尿器科) 【院外限定】

薬効： 透析中の慢性腎臓病患者における高リン血症の改善  
申請理由： 顆粒剤は義歯に挟まりにくいマイクロタブレットから成る製剤。嚙まずに服用できるので、咀嚼機能低下により嚙み砕きが困難な人に向き。

採用中止薬剤： なし

ラコール NF 配合経腸用半固形剤 (外科センター) 【院外限定】

薬効： たん白アミノ酸製剤  
申請理由： 経腸栄養剤のうち「半消化態経腸栄養剤」に分類。・ラコール NF は、ビタミンK含有量を他の経腸栄養剤と同程度にした製剤。

採用中止薬剤： なし

ゼルヤンツ錠 5mg (消化器内科) 【院外限定】

薬効： ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤  
申請理由： 分子標的薬の部類で、炎症反応にかかわる指令系統を分子レベルでブロックする。潰瘍性大腸炎に対する適応症が新たに加わる。既存薬とは作用機序が異なるため、既存治療で効果不十分な場合でも一定の効果が期待できる。

採用中止薬剤： なし

ビムパット点滴静注 200mg (脳外科・脳卒中センター)

薬効： 抗てんかん剤  
申請理由： 一時的に経口投与ができない患者に対し、2次性全般化発作を含むてんかんの部分発作の治療に対するラコサミド経口製剤の代替療法として開発された新剤形。

採用中止薬剤： ゼルフィルム (100 x 125)

ビーリンサイト点滴静注用 35 $\mu$ g (血液疾患センター)

薬効： 抗悪性腫瘍剤／二重特異性抗体製剤  
申請理由： 世界で初めて承認された二重特異性 T 細胞誘導 (BiTE®) 抗体による免疫療法剤。再発又は難治性の B 細胞性急性リンパ性白血病 (ALL) の患者に使用。

採用中止薬剤： なし 【在庫置かず】

ビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184% バックタイプ (眼科)

薬効： オキシグルタチオン眼灌流・洗浄液  
申請理由： 今回、新規で白内障手術装置が採用される。本手術装置はビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184% バックタイプをいれて使用するため、他の眼灌流液を使用することができない。そのため本剤が必要。

採用中止薬剤： なし

## ② 使用頻度の無い、または非常に少ない薬剤について

使用頻度の無い、または非常に少ない薬剤について、削除のご協力よろしく申し上げます。  
期限の近い薬剤について、極力使用していただきますよう、よろしく申し上げます。  
(各科へご連絡いたします。ご協力よろしく申し上げます。)

## ③ 使用成績調査について

### ゾスパタ

1. 調査区分：一般使用成績調査（全例調査）
2. 医薬品名：ゾスパタ錠 40 mg
3. 調査目的：ゾスパタ錠が投与された再発又は難治性の FLT3 遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病患者における使用実態下での各安全性検討事項の発現状況を把握する。  
<安全性検討事項>骨髄抑制、感染症、出血、QT 間隔延長、心不全、心膜炎、心嚢貯留、腎障害、消化管穿孔、間質性肺疾患、過敏症及び可逆性後白質脳症症候群
4. 調査予定期間：2018 年 12 月 3 日～2022 年 12 月 2 日（4 年間）  
登録期間：2018 年 12 月 3 日～2021 年 12 月 2 日（3 年間）  
観察期間：本剤投与開始より 6 ヶ月間（1 症例あたり）
5. 予定症例数：全例
6. 調査責任医師：麥谷 安津子  
調査分担医師：井根 省二、市原 弘善、康 史朗、喜澤 佑介、中井 久実代

### ビーリンサイト

1. 査区分：一般使用成績調査（全例調査）
2. 医薬品名：ビーリンサイト点滴静注用 35  $\mu$ g
3. 調査目的：ビーリンサイト点滴静注用 35  $\mu$ g 投与による、神経学的事象発現のリスク因子の探索、サイトカイン放出症候群に対して実施された処置内容及び各安全性検討事項の発現状況について検討する。  
<安全性検討事項>神経学的事象、サイトカイン放出症候群、感染症、膵炎
4. 調査予定期間：2018 年 11 月 27 日～2024 年 6 月 30 日  
登録期間：2018 年 11 月 27 日～2024 年 6 月 30 日  
観察期間：本剤の初回投与から 5 サイクル目終了時点まで
5. 予定症例数：全例
6. 調査責任医師：麥谷 安津子  
調査分担医師：井根 省二、市原 弘善、康 史朗、喜澤 佑介、中井 久実代

### ビーリンサイト

1. 調査区分：特定使用成績調査（長期使用）
2. 医薬品名：ビーリンサイト点滴静注用 35  $\mu$ g
3. 調査目的：ビーリンサイト点滴静注用 35  $\mu$ g の長期投与による、各安全性検討事項の Grade3 以上の事象の発現状況について検討する。  
<安全性検討事項>神経学的事象、感染症、サイトカイン放出症候群、腫瘍崩壊症候群、骨髄抑制、膵炎
4. 調査予定期間：2018 年 11 月 27 日～2023 年 9 月 30 日  
登録期間：2019 年 5 月 27 日～2022 年 9 月 30 日  
観察期間：本剤の 6 サイクル目開始から 9 サイクル目終了時点まで
5. 予定症例数：1 例
6. 調査責任医師：麥谷 安津子  
調査分担医師：井根 省二、市原 弘善、康 史朗、喜澤 佑介、中井 久実代

以上